

南会津の名将・河原田氏の名残り 伝統の武芸を悠久に継ぐ郷・伊南

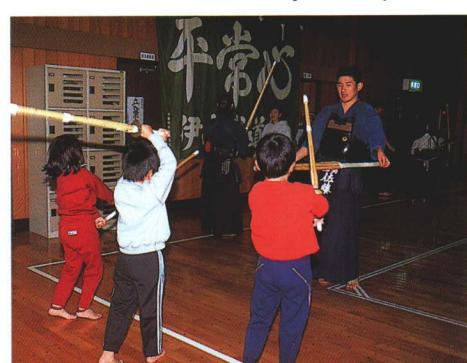
剣道は日本古来の武道の主流を担ってきたもので、心身の鍛錬はもとより、精神修養面では日本文化の一端を築いてきた伝統的な武道です。古式を大切にし、一瞬の間合いをよむ剣道の精神は伊南村の教育や文化にも脈々と受け継がれています。



この地には、伊達政宗の来襲に屈せず伊南郷5万石の領地を守りぬいた南会津の名将、河原田氏にちなんで、剣の道を極める気風がありました。その精神は、私たちの心に息づき、今に引き継がれています。



「剣道の里」伊南のシンボル伊南武道館。一度に150人が稽古できる本格的武道館として昭和55年に完成、日夜厳しい稽古が続けられ、常に全国レベルの優秀な選手を輩出していました。



親から子へ、子から孫へ、伊南の歴史と風土の中で息づいた剣士の心は、受け継がれ力強くはばたいてゆきます。